

島根県協同組合連絡協議会学習交流会を開催



2015年7月10日（金）、林業会館にて、講師に勝部祐治氏（合同会社 グリーンパワーうんなん職務執行者）をお招きしての講演を基調とした学習交流会を開催しました。あわせて、平成26年度活動について島根県森林組合連合会総務課長中平茂明氏より報告し、連絡協議会構成団体より54名が参加し交流しました。

講演

「地域共生社会をめざして」 ～森林バイオマスエネルギー活用事業の推進～



講演では、雲南市森林バイオマスエネルギー事業を担い「森林～チップ燃料～熱供給」のサプライチェーンを構築し、平成26年度からは市民参加型収集運搬システムを運営されるようになった事業について具体的内容に加えこれからの展望をお話いただきました。

参加した方からの感想

森林バイオマスエネルギーへの取り組みは、未来を守るためには、大変必要だと思いました。雲南でさらに安定した事業になって島根県全体に広がれば良いなと思います。

自分たちの使うエネルギーについて、一人ひとりが関心を持ち、考えている事はとても大切な事だと思います。地域を豊かにしながら、エネルギーを作り出していくというとても素晴らしい取り組みだと思いました。これからもますます発展されることを期待しています。私にも協力できることがあれば是非協力したいと思いました。

平成26年度活動報告

島根県産材を利用した木育活動

昨年度は、島根県森林組合連合会および農林中央金庫岡山支店が主催した木育活動について協賛、協力しました。森林組合連合会 中平茂明課長より当日の出雲私立第二中学校1年生180人を対象にした、枝打ち体験・丸太輪切り体験について報告がありました。



参加した方からの感想

山の樹木にふれる機会がほとんどない中で「木育」授業はとても意義あることだと思います。

食育はよく聞かすが、木育として枝打ち体験は子供たちにとって貴重な体験になったと思います。私も木材を切る機会があまりないので体験したいと思います。

四つの協同組合が力を合わせてこういった形で活動されていることはとても素晴らしいことだと思います。